

ディプロマ・ポリシー		カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>本学科では、本学の定める修業年限以上在学し、共通教育科目・基礎教育科目および専門教育科目を所定の履修方法に従って124単位以上を修得し、次のような能力・資質を備えた者に対し、教授会の意見を聴いて、学長が卒業を認定します。卒業が認定された者には、学士（英語文化学）の学位を授与します。</p>		<p>本学科では、ディプロマ・ポリシーを達成するために、次のような教育方針に基づき、カリキュラムを編成します。</p> <p>本学科は、アメリカ分校（MUSC）と有機的に連携し、グローバルな英語教育と人材育成を展開しています。本学科の学生は、初年次教育と全員が参加するMUSCでの4ヶ月の留学、希望者が参加するMUSCでの更なる4ヶ月の留学を通し、実践的な英語力や異文化理解・活用力を養います。3年次と4年次には4つの「系」に分かれ、専門的な領域の知識と英語力を身につけます。更に、ゼミでの研究や卒業論文の執筆を通し、論理的思考力を磨きます。また、4年間原則英語のみでの教育を施す英語特別クラス（Advanced Course in English: ACE）において、高次の英語力を養成する学習環境で学ぶ機会を得ることもできます。</p> <p>教育課程編成の方針は次のとおりです。</p> <p>1. 英語力の向上（基礎教育） 1・2年次では英語の「聴く」「話す」「読む」「書く」の技能を磨くとともに、3・4年次ではこれらの能力を総合的に発展させ、専門的な研究分野で学びます。4年間を通して英語運用能力をTOEICで測ります。また海外留学を望む学生は、TOEFLを受験するための指導を受けることができます。</p> <p>2. コンピュータリテラシーの獲得（基礎教育） 時代のニーズにあった高いレベルのスキル、知識を身につけることができるよう、情報処理能力の向上を図る科目を受講することができます。</p> <p>3. アメリカ分校留学プログラム（基礎・専門教育） 2年次前期の4ヶ月間、全員がMUSCへ留学（レギュラー・プログラム）します。授業はすべて少人数制のクラス編成で、第2言語としての英語（ESL）教育を専門とする外国人教員が行う英語力に応じた授業を受けることができます。また留学期間中にホームステイや研修旅行などを通して、アメリカの文化や社会について学び、国際感覚を身につけることができます。レギュラー・プログラム終了後さらに現地で学びたいと希望する者は、エクステンション・プログラムに参加することもできます。</p> <p>4. 4つの系の設定（専門教育） 3・4年次において、4つの系に分かれて、専門的な科目を学びます。原則として、いずれの系に属しても、他の系の科目も受講可能です。</p> <p>【第1系 文化・文学】 欧米諸国の伝統や価値観などを踏まえ、その文化・文学を深く理解した上で、コミュニケーションを図ることができる知性と能力を身につけることができます。</p> <p>【第2系 言語・語学】 英語の言語的特徴やその発達過程の歴史を深く学ぶとともに、社会における言語の有様を談話分析から考察するほか、その知識をもとにディスカッションやディベートを行って、英語運用能力を身につけることができます。</p> <p>【第3系 ビジネス・コミュニケーション】 国際ビジネスにおける英語でのコミュニケーションを多角的に学修・考察し、高次での総合的な英語運用能力と専門知識を習得します。幅広い見識を備え、多様な言語ニーズを認識しながらグローバルに活躍できる力を身につけることができます。</p> <p>【第4系 国際教養】 海外の大学への留学、大学院への進学、外資系企業への就職、国際機関での活躍を視野に入れ、グローバル化する世界における日本のあるべき姿を深く理解し、世界と日本の懸け橋となりうる国際感覚を身につけることができます。</p> <p>5. 卒業研究（ゼミ） 所属する系とは関係なく、3・4年次の2年間、開講されるゼミの中から興味・関心のある分野を選び、研究を進めることができます。</p> <p>教育課程全般においてきめ細かいインタラクティブな学修方法を通し、総合的な能力を高めます。</p> <p>卒業年次に提出する英語による卒業論文を通して、教育課程全般の学修成果が総括的に評価されます。</p>	<p>本学科は「立学の精神」とそれに基づく「教育目標」に賛同し、かつ卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）および教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識や技能、意欲を備えた女性を求めます。</p> <p>国際社会で通用する知識や英語力を身につけ、社会で活躍しようとする者を受け入れます。</p> <p>①入学までに、国語、英語、地理歴史、公民のほか、数学や理科といった教科を含む幅広い基礎知識を備えている人</p> <p>②入学後は欧米の文化や言語、ビジネスコミュニケーション、グローバル・スタディーズに関する基礎的および専門的な知識を修得する意欲を持った人</p> <p>③本学科の学修を通して得た専門的知識と論理的思考力等を生かし、自ら課題を発見・解決する能力を身につけ、社会に貢献する意欲を持った人</p> <p>④入学後にアメリカ分校（MUSC）へ4ヶ月間留学し、英語運用能力や異文化を理解する力を身につける意欲を持った人</p> <p>⑤国際社会で通用する幅広い知識と確かな英語力を身につけ、公的機関や民間企業で活躍する意欲を持った人</p> <p>⑥中学校・高等学校の英語科教諭、学校図書館司書教諭、図書館司書の職に就き、それぞれの分野で活躍し、社会の発展に寄与する意欲を持った人</p>
1. 知識・理解	1-1	欧米の文化や文学に関して幅広く正確な知識を持っている。	
	1-2	英語の歴史や構造に関して幅広く正確な知識を持っている。	
	1-3	国際社会・経済に関して幅広く正確な知識を持っている。	
	1-4	国際人として必要なコンピュータリテラシーを持っている。	
2. 技能・表現	2-1	教養レベルの英語を理解し、発信することができる。	
	2-2	専門分野の英語を理解し、発信することができる。	
	2-3	ドイツ語・フランス語を理解し、発信することができる。	
	2-4	ICTを利用して情報を収集し、発信することができる。	
3. 思考・判断	3-1	自分の考えを論理的に組み立てる力を持っている。	
	3-2	グローバルな視点から判断し、主体的に対応する力を持っている。	
	3-3	専門知識に基づいた、クリティカルな思考力を持っている。	
4. 態度・志向性	4-1	責任感を持ち、自律的に行動することができる。	
	4-2	異文化の人たちと積極的に交流し、国際社会に貢献できる。	
	4-3	知的好奇心を持ち、自らの専門を探求することができる。	